

今日のトピック 豪州は0.25%利下げで過去最低金利を更新

経済は持ち直しも、利下げ観測は豪ドルの重石に

ポイント1 政策金利は0.75%へ

- 豪州準備銀行（RBA）は、10月1日に開催した金融政策決定会合で0.25%の利下げを行い、政策金利を過去最低の0.75%としました。
- 利下げは、6月、7月に続き今年3回目となります。

ポイント2 米利下げや失業率の上昇が背景

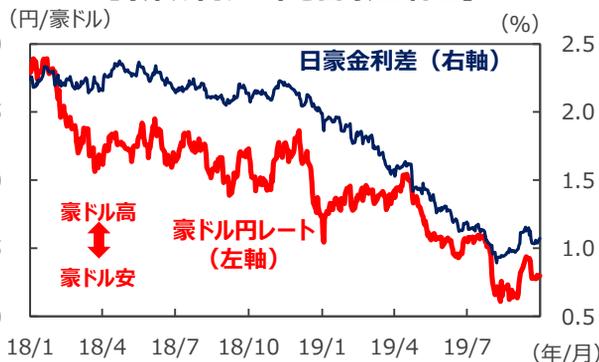
- 声明文では、世界的に金融緩和が広がる状況下、労働市場が先行き鈍化する可能性があることなどから、更なる利下げによる景気支援が必要と判断したと述べられています。
- 9月19日に発表された8月の失業率は1年ぶりの高さとなる5.3%に上昇し、10月の利下げ観測が強まっていたため、本日の利下げは市場の予想通りでした。

今後の展開 利下げ観測は豪ドルの重石に

- 今後の金融政策について声明文では、必要であれば追加緩和を行うと述べられています。注目される要因として海外では、欧米の一段の金融緩和や先行き不透明な米中貿易摩擦の影響、国内では、伸びが鈍い賃金・物価動向や、失業率の低下が見られないことなどがあげられます。
- 追加緩和の可能性が示唆されたことから豪ドルは下落しました。当面はRBAの追加利下げや米中貿易摩擦が豪ドルの重石になると見られます。一方で、鉄鉱石価格上昇などにより基礎的財政収支が改善し、来年度は12年ぶりに黒字の達成が予想されることや、利下げや所得減税などにより経済の持ち直しが期待されることは豪ドルを下支えすると考えられます。

【消費者物価指数と政策金利】


(注) 消費者物価指数は2013年1-3月期～2019年4-6月期。消費者物価指数は異常値をつけた項目を除外したトリム平均値。政策金利は2013年3月31日～2019年10月1日。
(出所) Bloomberg L.P.、オーストラリア統計局のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと日豪金利差】


(注1) データは2018年1月1日～2019年9月30日。
(注2) 金利差は豪州－日本。金利はともに3年国債利回り。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも 2019年10月 1日 オーストラリア マーケット動向

チェック! 2019年 9月19日 FRBは市場予想通り0.25%の追加利下げを実施（2019年9月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。